

平成28年度 秋季研修会（報告）

通常の学級でできる優しい授業づくり

今回の研修会では、通常学級にいる支援が必要な児童生徒に対して、“学級環境から考える優しい授業”と“指導方法から考える優しい授業”ということで、わかりやすく落ち着いて取り組むことができる授業づくりの観点や具体的な方法等の説明をさせていただきました。

1 日 時 平成28年9月30日（金） 15：30～16：45

2 開催場所 北海道北見支援学校

3 参加対象者
小・中学校の通常の学級担当者

4 参加者 26 名

5 研修テーマ
「通常の学級でできる優しい授業づくり
～学習環境と指導方法から考える授業のユニバーサルデザイン～」



6 講師 本校特別支援教育コーディネーター 佐藤 未央

7 アンケートより

- 学級環境については多少知っていたつもりでしたが、改めてお話を聞くとまだまだ配慮が足りないところがあったと感じます。また日々の忙しさを言い訳に、その子に本当に必要な声掛けや支援は何か、しっかり見えていなかったように思います。支援が必要な子はたくさんいますが、もっと子どもたち一人一人をしっかり見て、関わっていくようにすべきだと思いました。
- 私たち教師が、多くの引き出しを持って、優しい学級、優しい授業作りに力を尽くしていかななくてはと改めて感じました。
- “好意に満ちた言葉かけ”を十分意識していきたいと感じました。また「注意集中」への支援としての“ページカバー”や、“漢字貯金”のような空白の時間を埋める工夫に努めていきたいと思いました。
- 特別な教具（ページカバー）、板書の大切さを改めて感じました。また計算することへの支援で、タイルの色を変えているところが、なるほど！と思いました。
- その子をより深く知ることで、手立てを考えることができるのだと改めて実感しました。より多くの目で（学級をオープンにし）子どもを見とり、その子に合った支援や学習（授業）が適切にできるように頑張ります。